



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算補足資料

2024年8月14日



1. 2024年12月期第2四半期（中間期） 決算概要	P. 2
2. 事業進捗状況	P. 5
3. ソリューションサービス事業	P. 8
4. エンジニアリングサービス事業	P. 11
5. 重点施策の取り組み状況	P. 14
6. 業績予想	P. 29
7. APPENDIX	P. 31
OGI GrowUp2028 概要	P. 32
会社概要	P. 37

CONTENTS



2024年12月期第2四半期（中間期） 決算概要

1



2024年12月期第2四半期（中間期） 決算概要

売上高
3,794百万円
(前年同期比4.4%増)

売上総利益
1,055百万円
(前年同期比2.2%減)

営業利益
551百万円
(前年同期比4.5%増)

- 大手～中堅・地場ゼネコンへのサブスクリプションサービス(BooT.one)の導入や施工の効率化を目的とした受託開発が拡大
- 大手製造業向け顧客接点ソリューション(Easyコンフィグレータ, Webレイアウトプランナー)の導入が好調に推移
- 一部大型案件の立ち上げフェーズ(受注から設計プロセス)で収益の低下が発生
- 防災・減災、環境アセスメント業務は堅調に推移。人流データ等を活用したまちづくり計画支援業務が拡大
- CIM関連ソフトウェアの販売の受注に時間を要している
- 民間顧客拡大に向け鉄道事業者・高速道路事業者への活動を拡大中



2024年12月期第 2 四半期（中間期） 決算概要

（単位：百万円）

	当中間会計期間		前中間会計期間		増減額	増減率
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	3,794	—	3,634	—	159	4.4%
売上総利益	1,055	27.8%	1,079	29.7%	△ 23	△2.2%
販売費及び一般管理費	504	13.3%	551	15.2%	△ 47	△8.6%
営業利益	551	14.5%	527	14.5%	23	4.5%
経常利益	560	14.8%	546	15.0%	13	2.5%
中間純利益	387	10.2%	367	10.1%	19	5.4%
1 株当たり中間純利益	67.91円		64.45円		3.46円	5.4%



事業進捗状況

2



事業進捗状況（売上高）

通期売上予想に対する上期進捗率

（単位：百万円）

FY2024 計画

7,800

実績

1Q:2,018

2Q:1,775

進捗

3,794 48.6%

ソリューションサービス事業は順調に推移。
エンジニアリングサービス事業でCIM関連ソフト
ウェアの販売の受注に時間を要している。

FY2023 計画

7,000～7,500

実績

1Q :1,973

2Q:1,661

3Q:1,794

4Q:1,989

通期:7,419

進捗

3,634 48.5～51.9%

FY2022 計画

6,500～7,000

実績

1Q:1,948

2Q:1,546

3Q:1,696

4Q:1,884

通期:7,075

進捗

3,495 49.9～53.8%



事業進捗状況（営業利益）

通期営業利益予想に対する上期進捗率

（単位：百万円）

FY2024 計画

900

実績

1Q:365

2Q:185

進捗

551 61.3%

ソリューションサービス事業の一部大型案件の立ち上げフェーズで収益の低下が発生したが、エンジニアリングサービス事業が利益率改善でカバー。

FY2023 計画

800～850

実績

1Q:360

2Q:166

3Q:218

4Q:232

通期:978

進捗

527 62.1～66.0%

FY2022 計画

700～750

実績

1Q:373

2Q:197

3Q:164

4Q:220

通期:956

進捗

571 76.1～81.6%



ソリューションサービス事業

3



ソリューションサービス事業

お客様が抱えておられる課題の抽出やニーズの確認、システム導入後の効果の検証などをお客様目線で行い、当社保有のパッケージを活用した業務の効率化を実現します。

製造 DX

製造 業のお客様の課題に対して、自社開発パッケージとCAD技術を活かし、お客様のビジネスプロセス（営業活動～設計～アフターサービス）を改善するサービスを提供しています。



営業支援見積作成コンフィグレータシステム



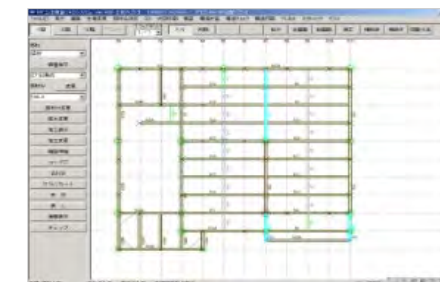
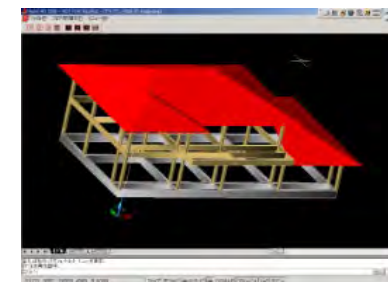
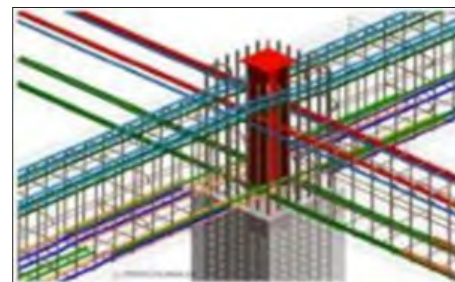
保守点検・修理サービス管理支援システム



パーツカタログ配信システム



建設・設備業のお客様に対して、BIM、CAD、施工管理、設備設計など幅広い領域で、お客様のビジネスプロセス（設計、構造、省エネ、施工、点検）を改善するサービスを提供しています。



建設 DX

地理情報システム（GIS）を活用し、電力・ガス・建設・不動産・物流などのお客様の業務効率化の支援をしています。





ソリューションサービス事業

業績推移

2022年12月期より新収益認識基準を適用しております。

(単位：百万円)

	中間会計期間		業績推移		
	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
売上高	1,651	1,973	2,426	2,555	2,807
営業利益	427	526	558	623	544
売上高営業利益率	25.9%	26.7%	23.0%	24.4%	19.4%





エンジニアリングサービス事業

4



エンジニアリングサービス事業

エンジニアリングサービス事業は3つの分野を柱に、高度な解析・計算技術を活用した課題解決型のコンサルティングサービスで社会に貢献しています。

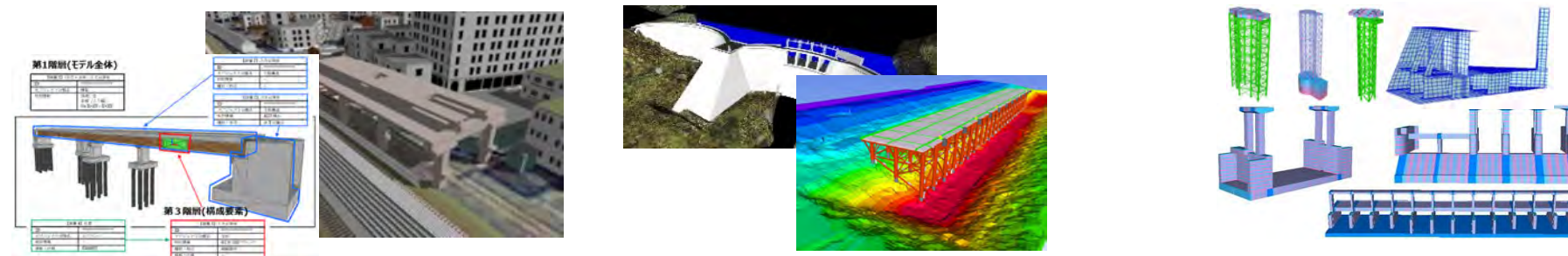
防災
減災

防 災・減災分野での専門性と数値シミュレーション技術を活かし『防災・減災対策』『社会資本の維持管理』『安心・安全な生活』に関するエンジニアリングサービスを提供しています。



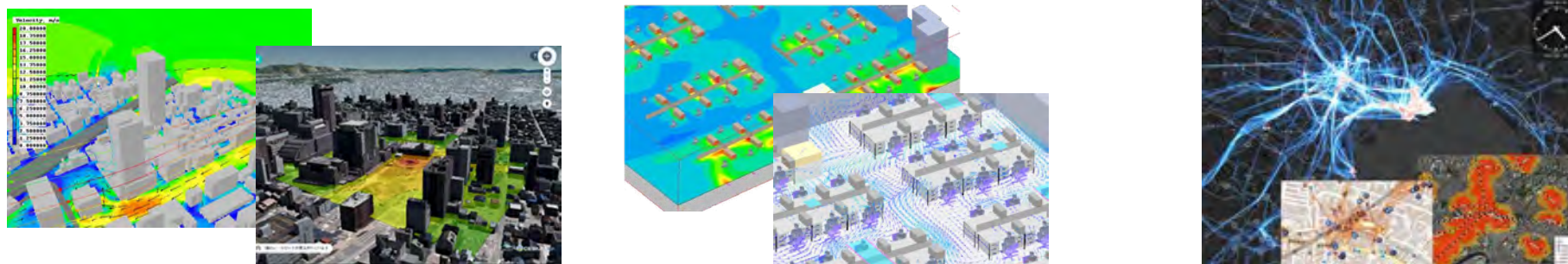
建設ICT
CIM

建 設ICT・CIM分野では、建設ICT、CIM-プラットフォーム、3次元モデリング、GIS技術を活用し、建設生産性の向上のための情報基盤整備、公共・インフラ分野に関するマネジメントを支援しています。



環境
まちづくり

環 境・まちづくり分野では、環境・社会調査技術、人流データ等の解析技術を活かし『生活環境改善』『カーボンニュートラルな社会の実現』のためのコンサルティングサービスを提供しています。





エンジニアリングサービス事業

業績推移

2022年12月期より新収益認識基準を適用しております。

(単位：百万円)

	中間会計期間		業績推移		
	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
売上高	1,125	1,273	1,068	1,078	986
営業利益	308	377	309	231	259
売上高営業利益率	27.4%	29.6%	29.0%	21.5%	26.3%





重点施策の取り組み状況

5



重点施策の取り組み状況（建設）



設計～生産～施工を繋ぐ（BIM＋データで業務を行う仕組み）

FULL BIMの実現に向けた活動 → 「BIMモデル」を使いこなす

2D図面、技術図書

Smart BIM Connection

LOD 100

LOD 200

LOD 300

LOD 350

意匠

躯体

構造

設備

製作図

施工図

施工～

AUTODESK Revit + BooT.one

Connect.one Insight

Docs

BUILD

BIM Collaborate

Takeoff

施工前～施工を効率化するDXプラットフォーム

Autodesk Construction Cloud™

ゼネコンが作成するもの

- ・関係する企業との間で施工上必要な業務(資料、書類 等)のDX化
- ・すべての工程において「モデル＋データで仕事を行う」仕組みを構築

鉄骨

配筋

セメント

空調

昇降

電気

外装

内装

建具

配管

衛生

防災

- ・部分詳細図
- ・単品図
- ・施工要領書
- ・製作要領書
- 等々の膨大なOutput

協力業者が作成するもの

施工前業務
(PreConstruction)

- ・見積積算(労務、材料 他)
- ・サプライヤ管理/調達 (調達 RFx 他)
- ・施工計画(リソース計画 他)
- ・施工シミュレーション(4D/5D)
- ・バリューエンジニアリング



施工情報
共有伝達
ツール 等

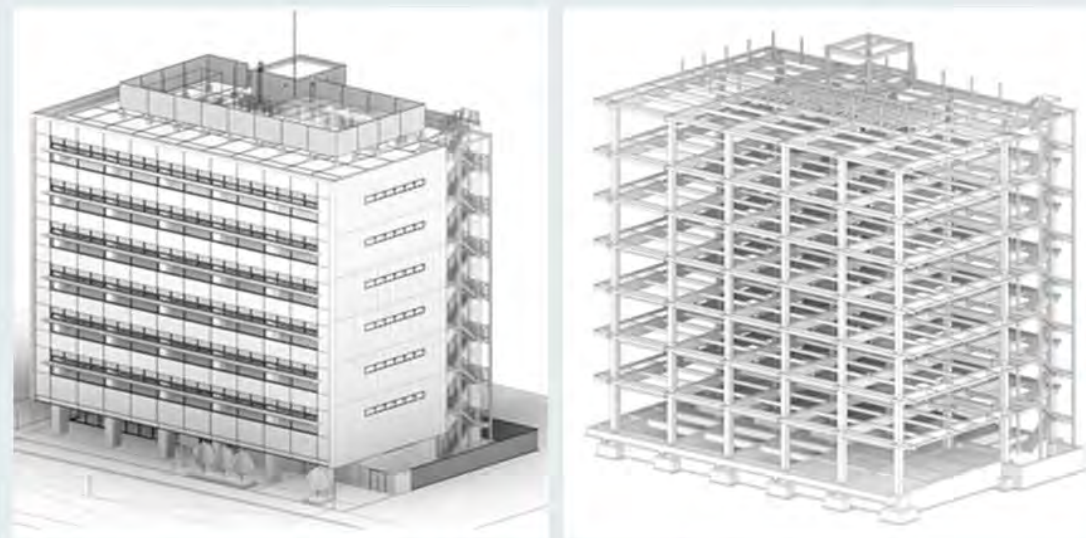
- ・ANDPAD
- ・現場PLUS
- ・ApaiderPLUS
- ・フォトアクション
- ・KANNA
- ・ダンドリワーク
- ・eYACHO 等



重点施策の取り組み状況（建設）

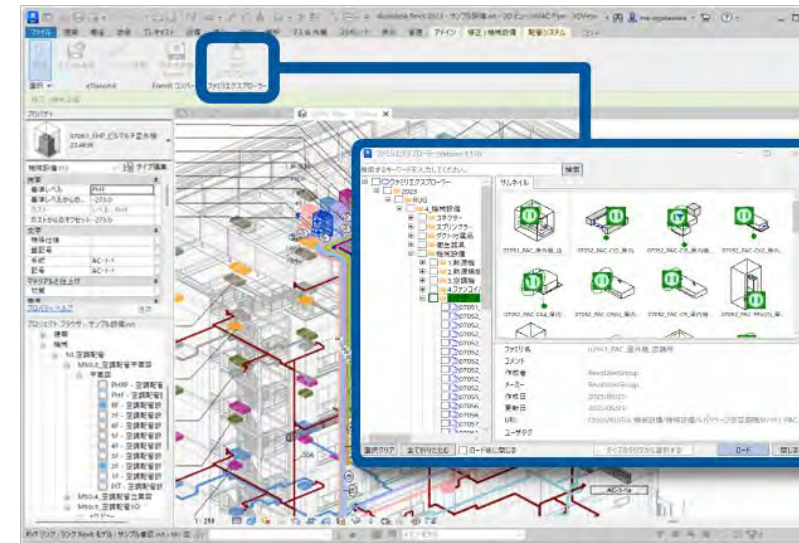
BIMモデルを中心に、ゼネコン・サブコン・設備メーカーを繋ぐ FAMILY EXPLORER を提供。今後、機能拡張を進め、利用者の利便性を高めていく。

1 建築モデル取り込み



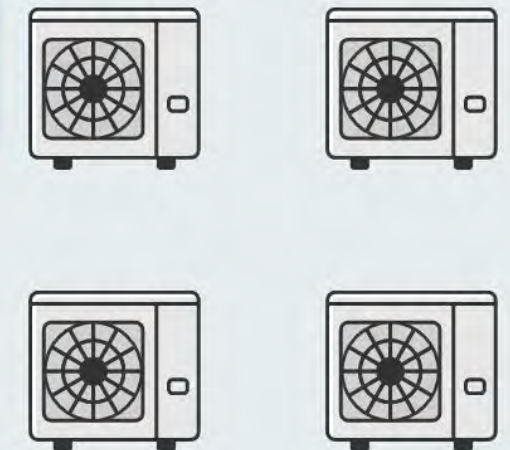
建築モデル

Autodesk Revit



2 機器を選定・配置

機器
配置



設備モデル

BooT.one Family Explorer

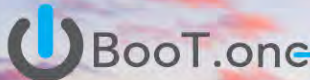




建築建築通信新聞 BIM特集号掲載 (2024/5/30)

P.16

[illegible]





みんなが使えるBIMを目指して

BooT.one には BIM をはじめのに必要な全てがあります。
 一つ一つ丁寧に作りこんでいるため、すべてが相互に連携し、
 Revit のユーザビリティをかつて無いほどに向上させています。
 BooT.one は皆様と一緒に成長していくプラットフォームであり続けます。

toBIM 人と技術の融合によるワンストップ BIM サービス



システム開発

個別のニーズに合わせた BIM の実現のために BIM の効率を高めるためのお客様ニーズに応じたシステムやツールの提案および開発を行うサービスです。



導入サービス

スムーズな BIM 導入のために BIM 運用の課題抽出から解決手段の提示およびトレーニングなど導入の効率化を行うサービスです。



活用サービス

BIM を最大限活用するために IoT、API/VR、AI など最新技術を活用したシステム連携による "Connected BIM" の支援を行うサービスです。



BPOサービス

BPO を活用した業務効率化のために お客様の効率的な BIM のプロセスを構築し、BPO を利用することでリソースの最適化を図るサービスです。



システム提供

建設業界の高度化のために 建設市場に向けた BIM の支援サービスや効率化ツールなどの提供をお客様と一体に行うサービスです。





応用技術株式会社



誰もが BIM につながる世界へ
A world connected to BIM



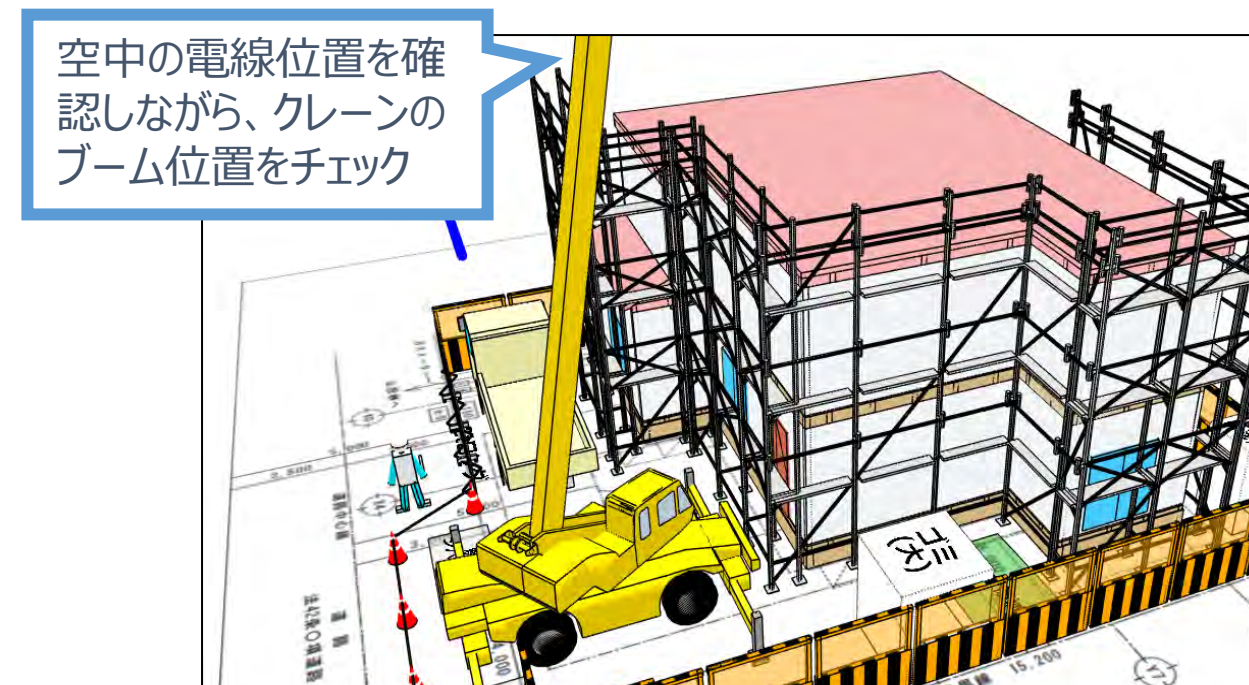
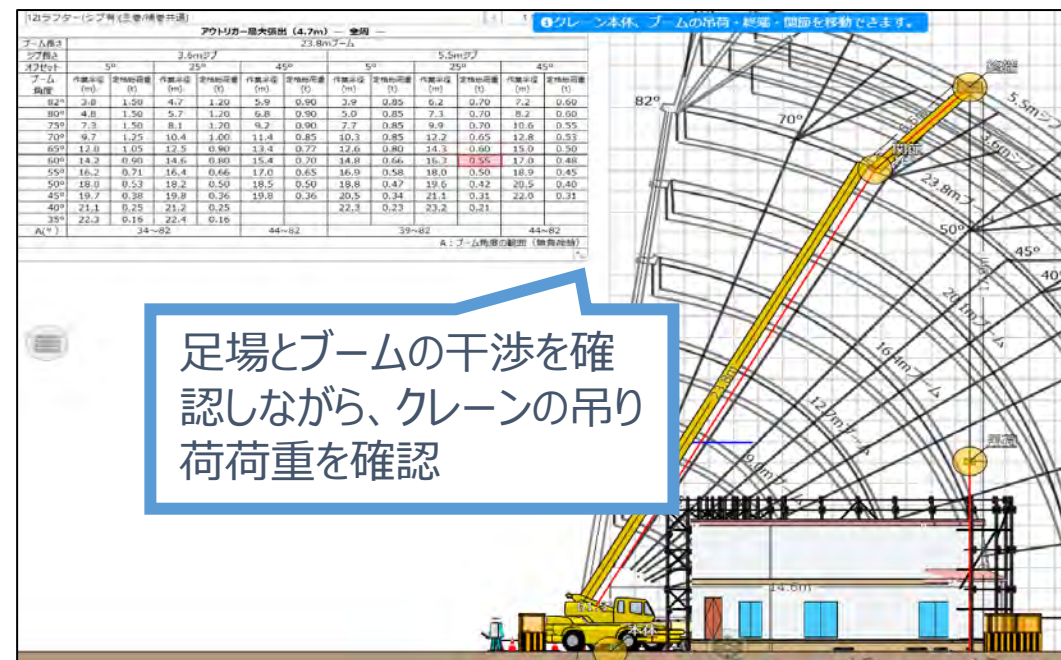
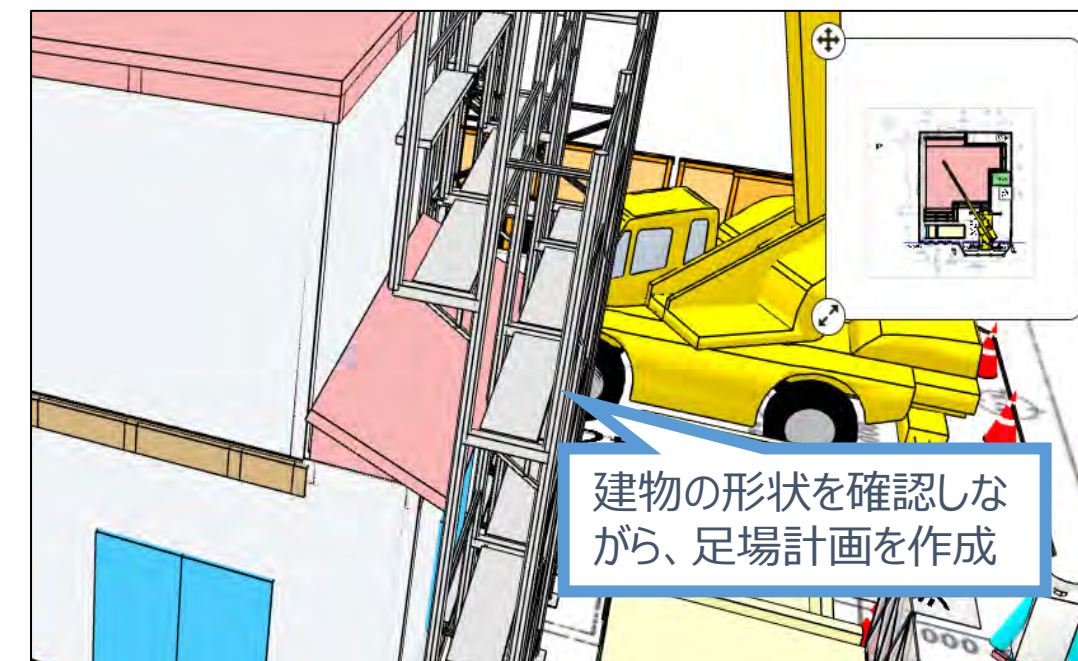
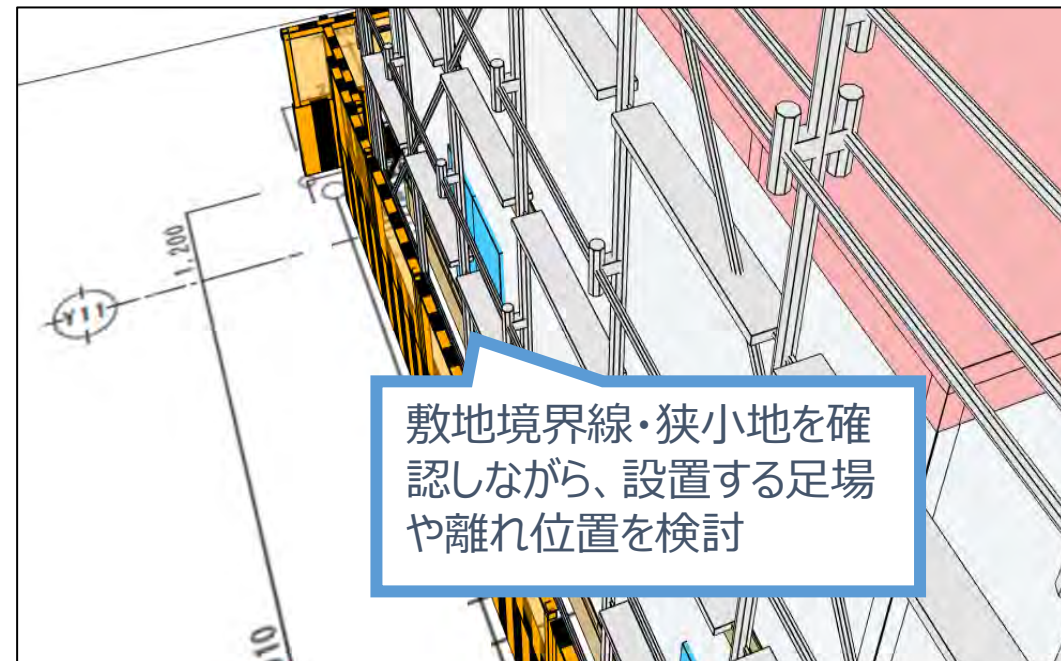
<https://tobim.net>



重点施策の取り組み状況（建設）

WebConstructionPlanner（3D施工計画支援システム）

建設工事を円滑に進めるうえで重要な仮設計画を行うサブスクリプションサービスをリリースしております。既に大手ハウスメーカーの新築全棟で採用されており、順次ユーザーを拡大中です。



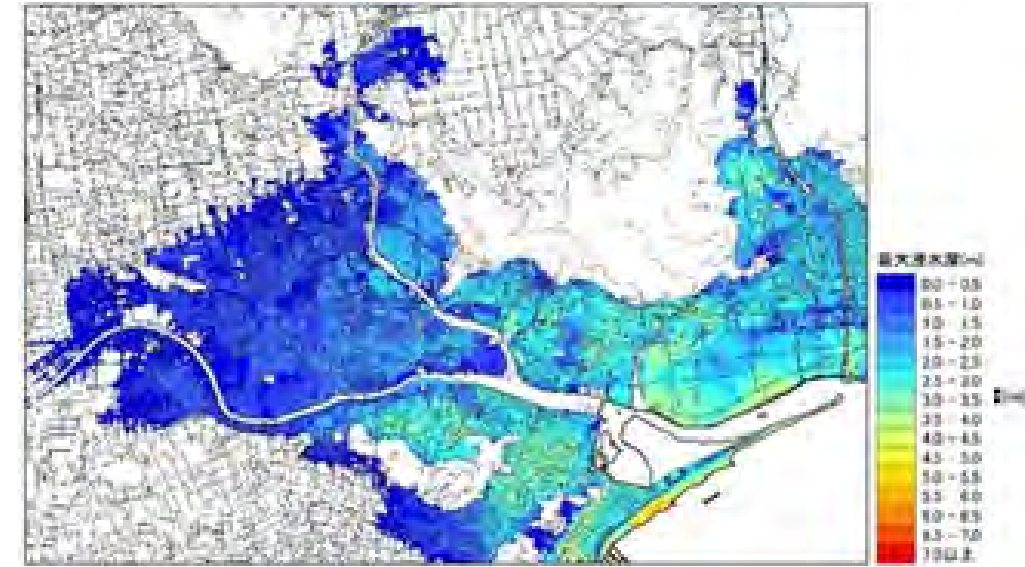


重点施策の取り組み状況（防災・減災）

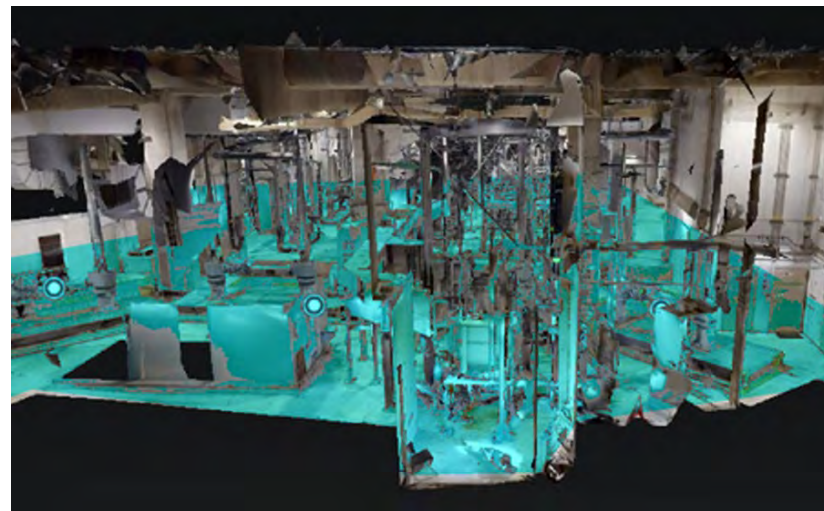
防災・減災技術（Bigdata, IoT）を新たなまちづくりへ活用



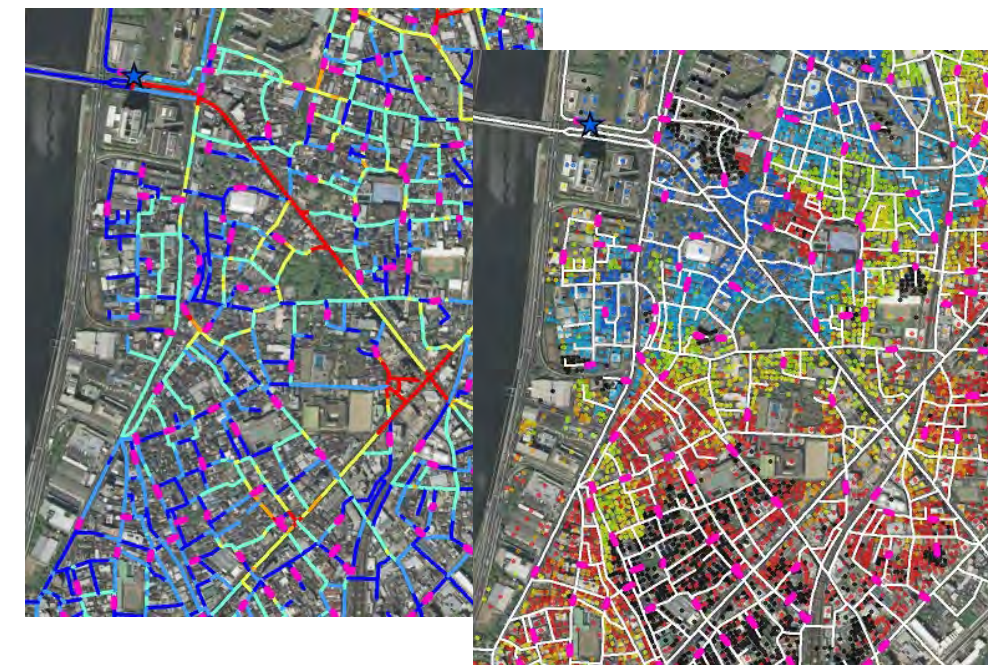
3D都市モデル(PLATEAU)を活用した
津波浸水シミュレーション



氾濫シミュレーション



インフラ耐水化評価（3D情報管理）

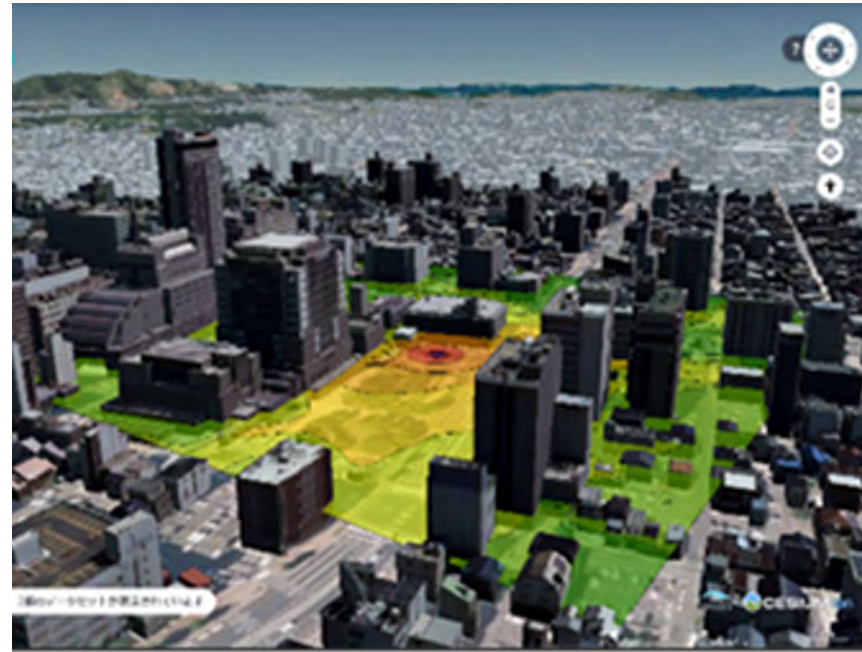


地震火災による建物倒壊と避難経路遮断、
大量の避難者による混雑、避難の遅れ

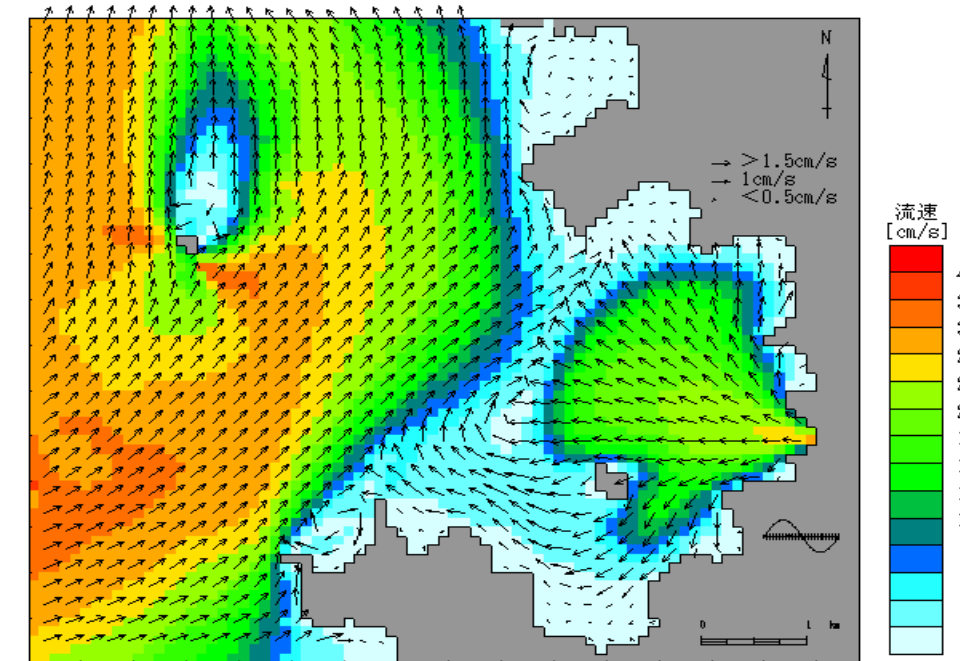


重点施策の取り組み状況（環境解析・まちづくり）

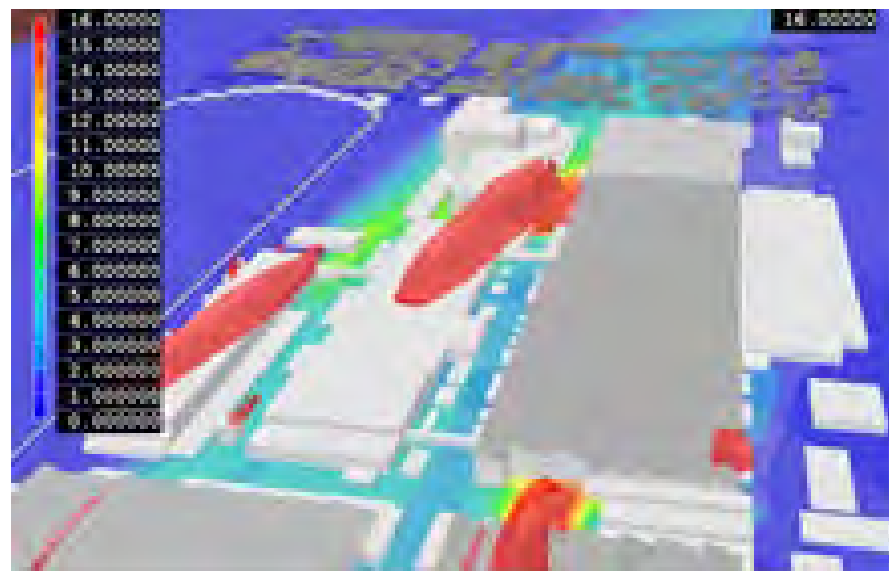
様々な環境シミュレーションを新たなまちづくりへ活用



3D都市モデルを活用した環境シミュレーション



潮流シミュレーション



悪臭対策・大気拡散シミュレーション



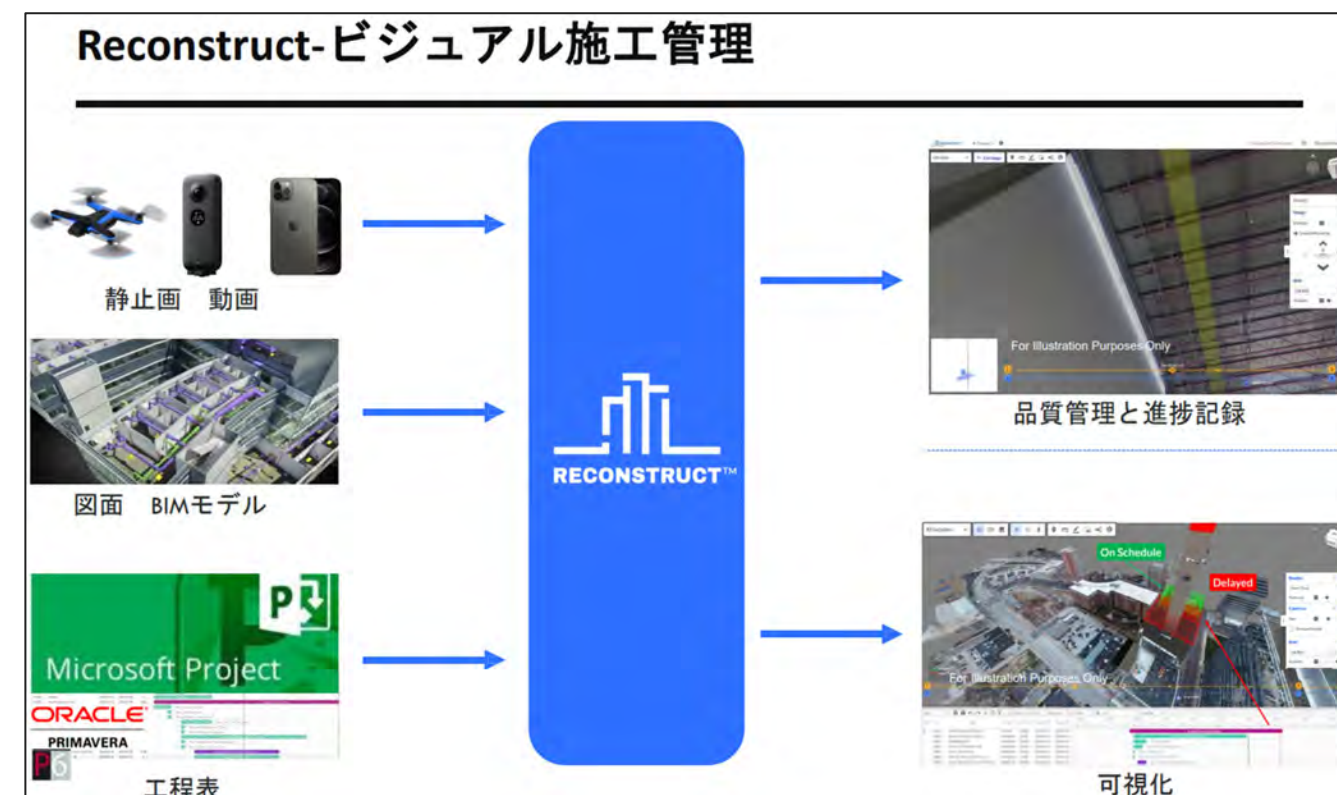
人流データ分析とまちづくりシミュレーション



重点施策の取り組み状況（土木）

toCIMサービス BIM/CIM属性管理ツール『Navismaster』の展開・普及

2023年度より、すべての公共工事がBIM/CIM原則適用の対象となりました。
BIM/CIM業務の効率改善を目的に属性管理作業をサポートするアドインツール『Navismaster』を2022年6月にリリースし、市場のニーズを取り込みながら2024年5月にはVer 3.3へとアップグレードを行いました。ホームページでは「toCIMポータル」サイトを立ち上げ、情報発信を加速しています。また、toCIMサービスの支援ソフトの一環として、リモート品質管理とデジタル進捗管理を可能にする『Reconstruct』の販売を開始しております。

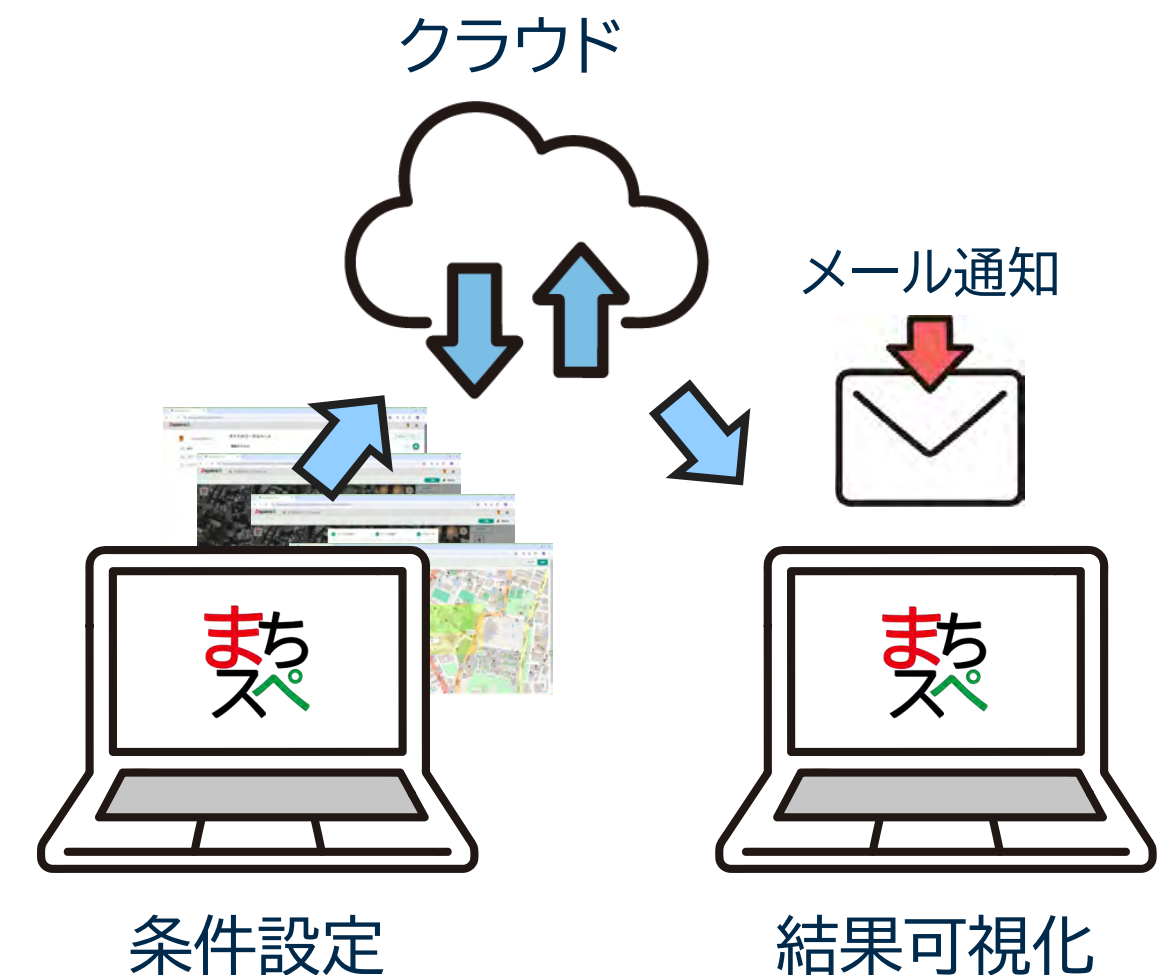
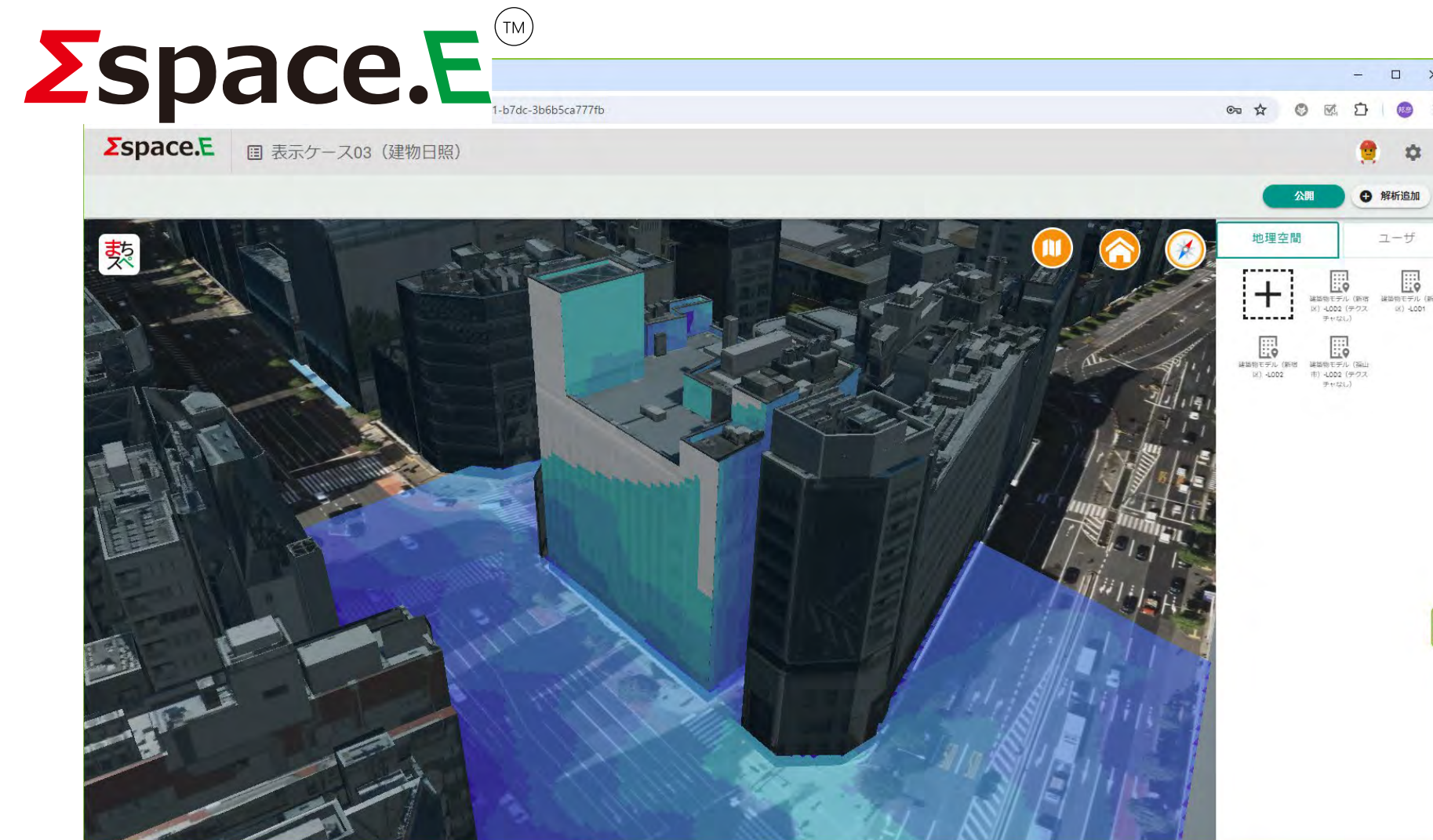




重点施策の取り組み状況（都市データ利活用）

toENGサービス デジタルツインプラットフォームの利活用

『都市のデジタルツイン活用コンサルティングビジネス』の研究を進めており、その成果としてWEBブラウザ上で身近な環境の簡易解析と、その結果の可視化・共有が可能な「まちスペース™」を開発しました。現在、リリース前のテスト調整作業が進行中であり、近日中の公開を予定しています。





重点施策の取り組み状況（ものづくり）

既存の枠組みにとらわれない新しい価値を！

Additive Manufacturing

～プロダクト改革～



新しい設計手法・製造工法による付加価値を創出

部品最適化

～デザイン改革～



部品のポテンシャルを最大限活かす設計デザイン

Machining

～プロセス改革～



ノウハウのデジタル活用、属人化の脱却

Digital Automation

～デジタル改革～



デジタル活用によるオートメーション化



ものづくりに革新を起こすプラットフォームサービスの展開に注力





重点施策の取り組み状況（ものづくり）

プロダクト改革サービス：「Generative Design」、「Additive Manufacturing」の活用

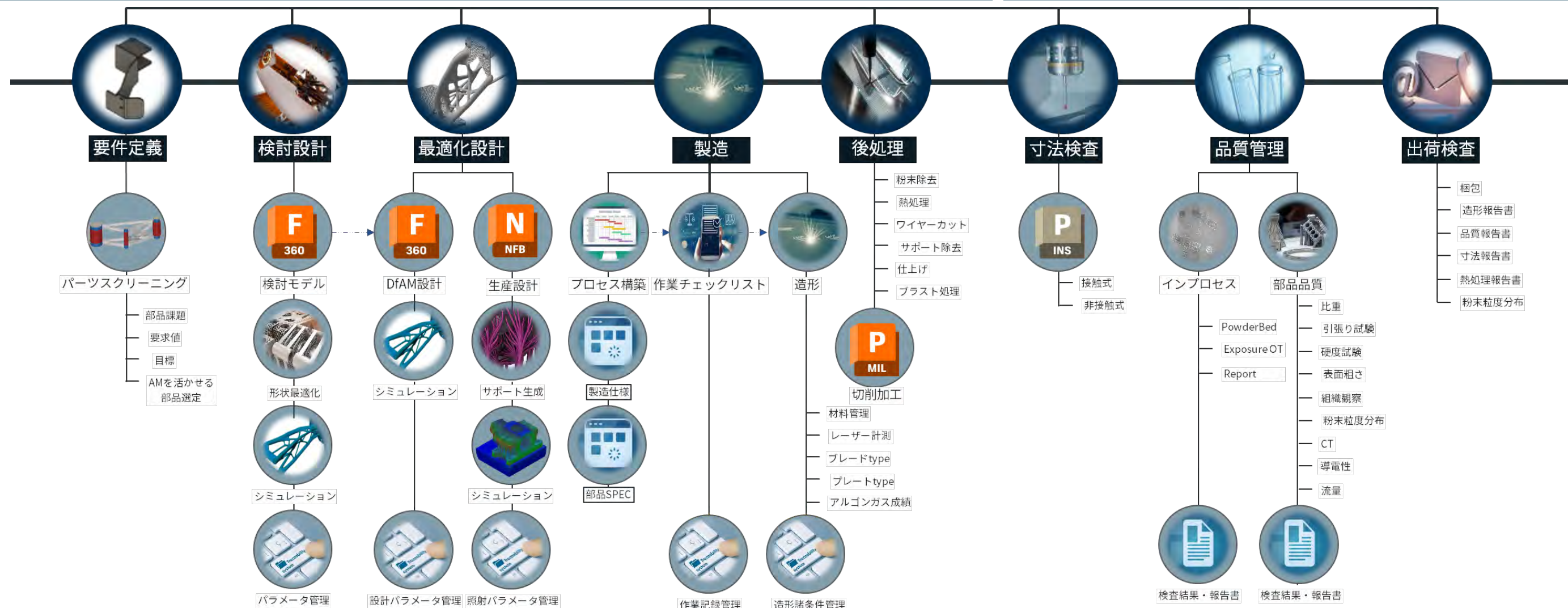
お客様の技術ノウハウ蓄積やスキル向上をめざしプロジェクト全体をサポート
AM活用における現場力・技術力・課題解決能力の向上をめざしAMコーディネーターを育成

【お客様のスキル向上に貢献します】

1. パーツ選定、設計最適化、製造、品質までの全プロセスを理解
2. AM専用の技術トレーニングを受講いただきながら、技術スペシャリストを育成
3. AM技術、知識、プロセス、DfAM習得などAMコーディネーターを育成

【経験/習得できる項目】

- AMに適したパーツを選ぶ
- 付加価値を追求した設計
- AMの特長を活かしたDfAM設計
- プロセス保証の実現に向けた造形方案
- 要求される部品特性に応じた後処理、品質検査の確立





重点施策の取り組み状況（ものづくり）

プロセス改革サービス：“MillEdge.hub”β版をリリース

切削加工ノウハウの蓄積を支援し、技術の属人化を解消

登録

Input

CAMに依存しない仕組み
登録画面を統一



工具情報



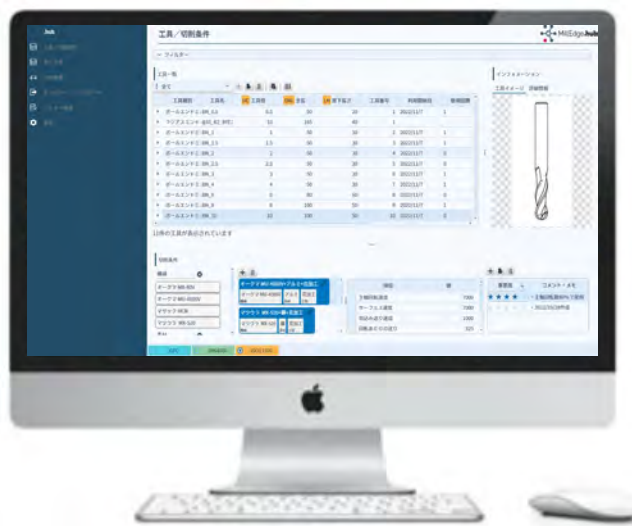
切削条件



加工工程



MillEdge.hub



活用

Output

CAMとのマッピング機能
複数のCAMへ連携可能



AUTODESK
Fusion 360



AUTODESK
PowerMill

他のCAMとの連携も
随時対応可能であるオープンな環境

管理

Maintenance

柔軟なパラメータ設定

CAMにないユーザ独自のノウハウ管理



重点施策の取り組み状況（ものづくり）

プロセス改革サービス：“Ezsurf.make”をリリース

CAMエンジニアの作業時間を70%以上削減！

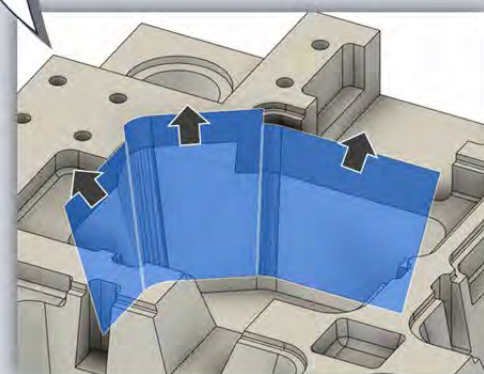
CAM最適化ソリューション



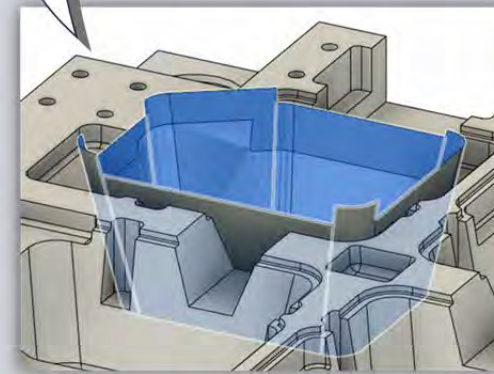
EZsurf.make

CAM延長面の設計プロセスが圧倒的に短縮！！
～現状お使いのCAD/CAMを変更することなく、金型延長面作業を70%以上削減～

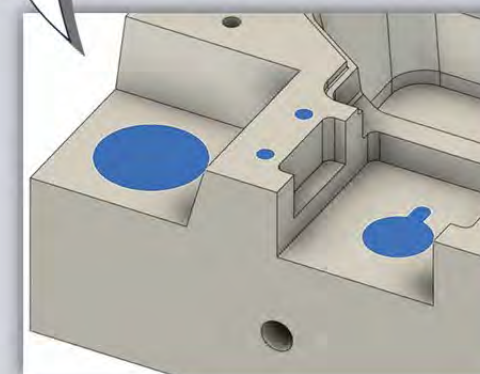
面を一枚一枚延長するのは面倒・・・



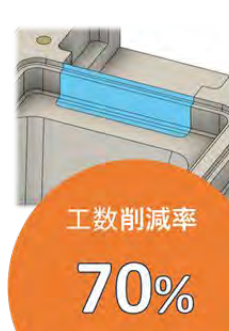
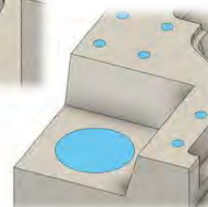
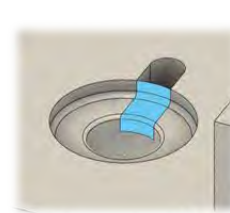
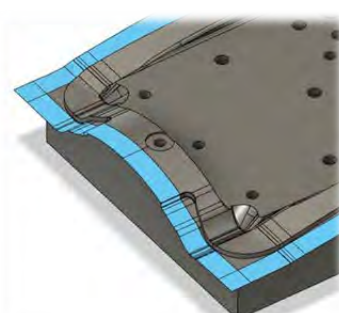
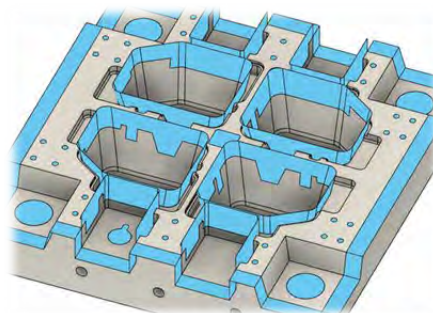
延長面の高さを揃えたい・・・



複数の穴を一括で埋めたい・・・



EZsurf.make で解決できます



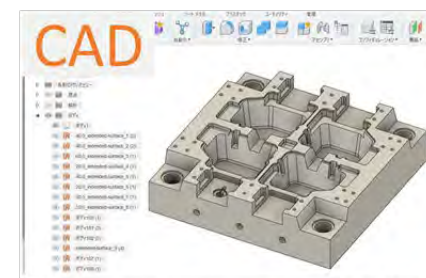
工数削減率

70%

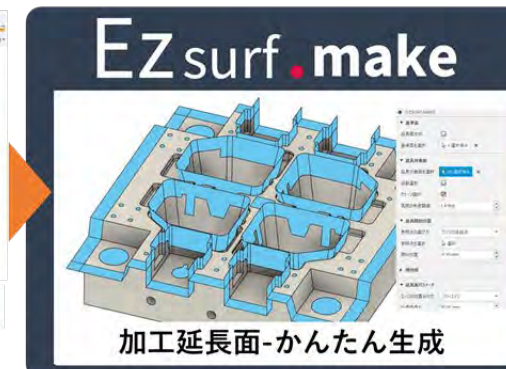
を超える効果！

煩雑だった延長面の作成が簡単操作で迅速に行える！

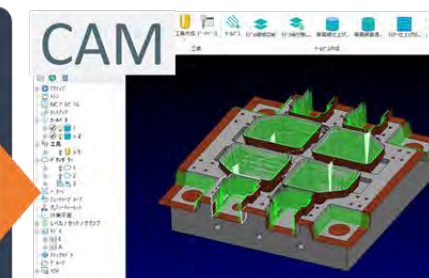
現状のCAD/CAMを変更する必要はありません



モデルを中間ファイルで出力



加工延長面-かんたん生成



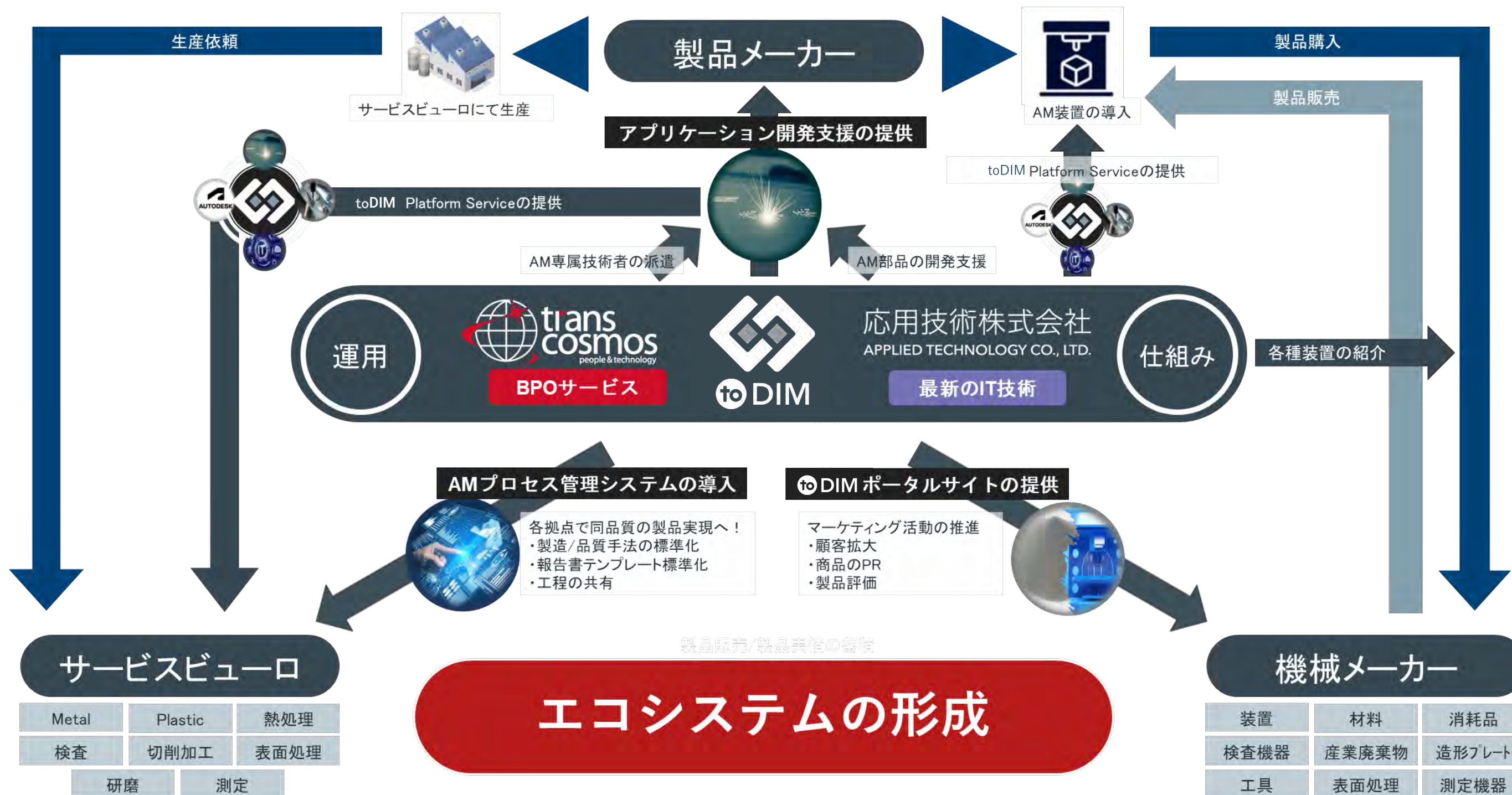
延長面をCAMにインポート

Autodesk Fusionのアドインツールとして機能し、低価格で導入可能な補助ツール！



重点施策の取り組み状況（ものづくり）

to DIM が中心拠点の役割を果たし、Generative DesignやAdditive Manufacturingの活性化、各企業の技術研鑽および事業拡大へと繋がる仕組みを構築





業績予想

6



業績予想

(単位：百万円)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	予想	対前期増減率	予想	対前期増減率	予想	対前期増減率	予想	対前期増減率	
通 期	7,800	5.1%	900	△8.0%	910	△13.2%	628	△12.3%	109.99円

売上高営業利益率：11.5%

売上高経常利益率：11.7%

(注) 本業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績目標の達成に向けて、引き続き注力してまいります。



APPENDIX

「OGI GrowUp2028」概要
会社概要

7



OGI GrowUp2028 概要

中期経営計画（2024年～2028年）



自社を取り巻く環境と当社事業としての認識

社会環境

気候変動、脱炭素社会、再生可能エネルギー

ものづくり国内回帰、外資系企業の日本進出

労働人口の減少、人材獲得競争の激化

民間設備投資 インバウンド 等の回復

防災、減災、国土強靱化、防衛予算の増加

建設、物流業界の2024年問題

人的資本経営、人材育成、働き方改革

AIの劇的な進化



当社事業としての認識

再生可能エネルギー関連アセスメントの伸長 新たに内水氾濫解析業務が増加

防災、減災、国土強靱化事業の伸長 新たに防衛土木関連業務が見込める

デジタルものづくりの拡大 DX基盤としてPLMの見直しが始まる 技能ナレッジのDX化が加速

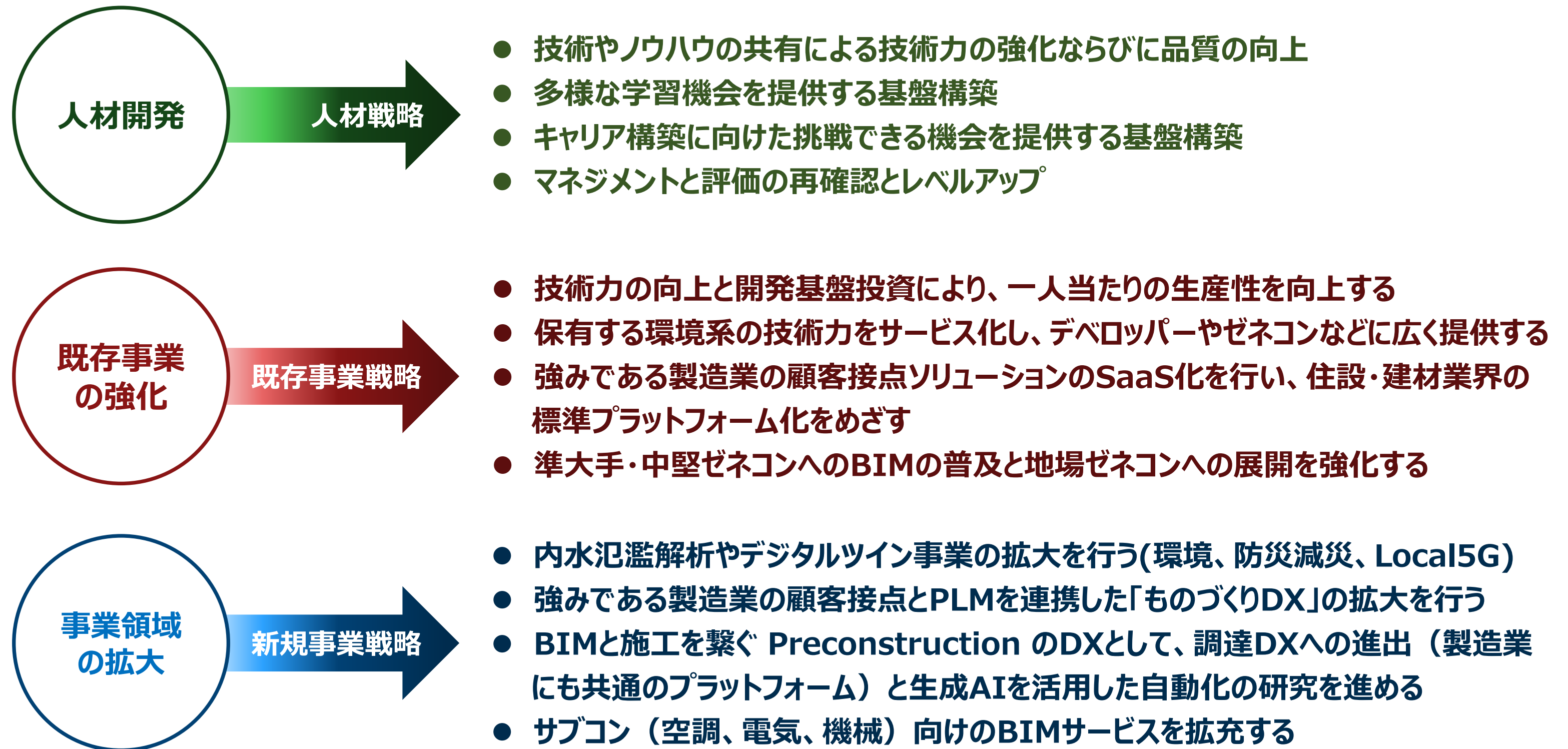
BIMと施工を繋ぐ 施工前業務(Preconstruction) のDX化、AI化が拡大する

業種ごとのエコシステム化が進展 さらにエコシステム同士が繋がり異業種間でデータ活用が進む

技術の源泉は社員であり、人的資本投資を積極的に行い、会社・社員が共に成長していく



中期経営計画での実施事項





中期経営計画の計数目標

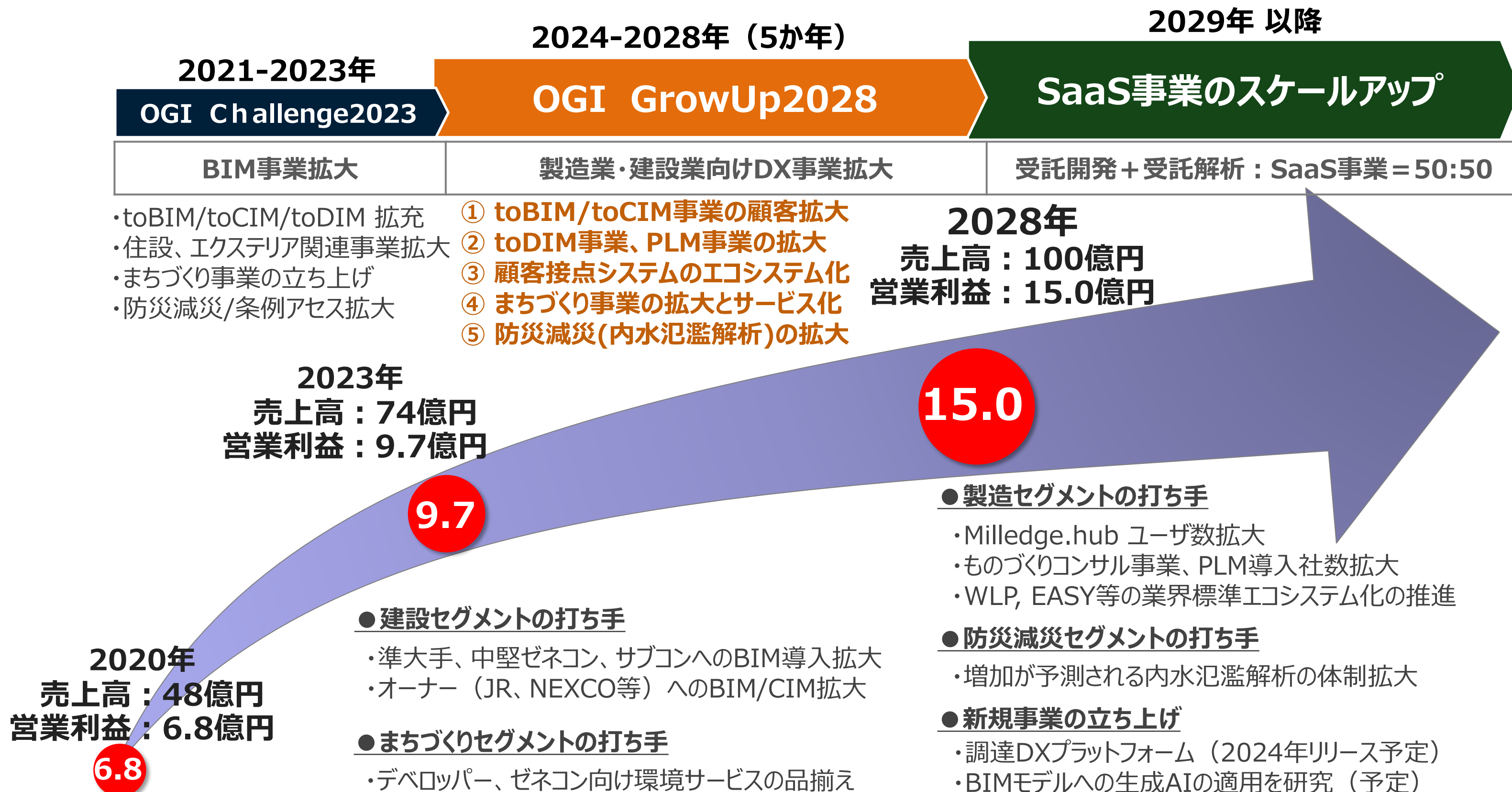
(単位：百万円)

	2023年 12月期実績	2024年 12月期計画		2028年 12月期	年平均成長率
売上高	7,419	7,800	➡	10,000	6.2%
営業利益	978	900	➡	1,500	8.9%
営業利益率	13.2%	11.5%	➡	15.0%	+ 1.8Pt
経常利益	1,048	910	➡	1,510	7.6%

中期経営計画「OGI GrowUp2028」は、当社がこれからも長期にわたり成長し続けるための施策を実行する期間とし、将来に向けたビジネスモデル変革を考慮した大幅な組織変更や、技術力の向上と蓄積を行うための人的資本投資ならびに社会の変化にいち早く対応した新サービスの提供を行うため、5か年の計画としました。



長期的な企業価値の向上をめざして





会社概要

2024年6月末現在

課題を価値に変えるイノベーション・カンパニー



会社概要

(2024年6月末現在)

商号	応用技術株式会社
本社所在地	〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル
代表者	代表取締役社長 船橋 俊郎
設立年月日	1984年6月14日
上場市場	東証スタンダード
事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
資本金	600,000,000円
発行可能株式総数	22,200,000株
発行済株式総数	5,716,800株
単元株式数	100株
大株主（議決権所有比率）	トランス・コスモス株式会社（60.23%）
株主数	1,155名
従業員数	268名



本資料に関する特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点において当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、今後の日本経済、株式市場の動向や情報サービス業界の動向、新たなサービスや技術の進展等により、大きく異なる可能性があります。

従いまして当社として、その確実性を保証するものではありません。

ご覧いただきありがとうございました。

 応用技術株式会社

課題を価値に変えるイノベーション・カンパニー